

てらこし和洋の一般質問
(平成30年9月12日)

Q1 白山頭首工の魚道にアユ等の生態調査のため監視カメラの設置を。

質問 現在工事中の白山頭首工の両岸に、魚道の設置が行われています。魚道の設置は堰堤の上下流を魚類が自由に行き来できる、魚類の育成の場が目的であります。青少年の環境教育の一端として、アユ等の魚類の生態調査と自然学習のため、河川漁業の振興やアユ釣り愛好者の増大を目的に、魚道にカメラを設置し、魚の遡上確認や、河川の清流度の環境調査等の一助のため、国及び県に対し設置等の要望を積極的に行っていくべきである。

答え 白山頭首工の改修計画の中で施工することが最善と考えるので、現在、国や関係機関と検討を重ねていて、設置に向けて前向きに進めて行く。カメラの設置に伴い、ビデオに魚道や魚の生態を録画し活用することも、教育上大切であるので、手取川七ヶ用水管理センターにおいて、録画が見られるようにしたい。

Q2 除雪対策について、凍結防止剤や融雪剤の散布は。

質問 今冬の大雪の対応で、想定外であったことは、基幹道路などの道路すべてが、圧雪状態になり、機械除雪の機動力が発揮できなかった事も要因の一つである。圧雪状態になると機械除雪の能力低下で、除雪時間の増え次の路線が遅れます。その対策の一つとして、凍結防止剤や融雪剤の早急なる散布があります。市道に関しては、遅れる状況であるので、凍結防止剤並びに融雪剤の必要性を、住民に理解を求めるよう周知すべきであるが、市の見解は。

そして、凍結防止剤及び融雪剤の散布車の購入の、今後の予定は。

答え 凍結防止剤に対する理解を得ることも必要であると考えますので、今年度より市のホームページ等に掲載し、周知を図って行く。

白山警察署等からの散布要請も多く、今後、散布延長を延ばす必要があると考えているので、増強を検討する。

Q3 主要地方道並びに県道の融雪雪装置設置を。

質問 今年の2月の大雪では、トラック・自家用車等が、幹線道路などで立ち往生し、交通マヒの状況が発生し、融雪雪装置のある場所ない場所では、格段の違いが見られました。石川土木事務所管内では、融雪雪装置設置に関して、ここ10年以上も幹線道路の県道関係には、各町内から要望が出ているにもかかわらず設置されにくい状況であります。

特に、5路線(金沢・鶴来線、野々市・鶴来線、松任・宇ノ気線、鶴来・水島・美川線、鶴来・美川インター線)においては部分的に融雪雪装置が設置されているが、融雪雪装置の不設置区間について、設置できない理由は。

答え 石川土木総合事務所管内では、多くの融雪雪装置の整備について要望を受けていますが、設置から40年以上経過している融雪雪装置が数多くあることから、既存装置の更新が急務であり、更新事業に相当の年月がかかることから、新たな装置の設置については、すぐに対応することは困難であると聞いています。市としては、引き続き県に要望して行きます。

Q4 市内外からの災害ゴミの受け入れを。

質問 7月の西日本豪雨の被災地の倉敷市真備町地区では、災害ゴミが7万トン発生し、仮置き場の用地・ゴミの処理能力・異臭の問題など、環境面で心配されました。

環境省が平成27年11月に策定した「大規模災害発生時における災害廃棄物対策行動指針」では、市町村は大規模災害に備え「災害廃棄物処理計画等」を策定しなければならないわけですが、県内では、金沢市・小松市・野々市市が策定済みで、現在策定中は、七尾市・かほく市・羽咋市・川北町です。白山市は広域事務組合の関係もありますが、野々市市・川北町より計画の策定が遅れているが処理計画の策定予定と、白山野々市広域事務組合との協議の現状は。

答え 平成28年3月に改定した県の処理計画指針で、市町におけるモデル計画が示されており、白山市では、当該モデルを参考に、今後策定を進める予定です。策定期間は、石川県強化計画の目標年次である2020年度までに策定したい。

白山野々市広域事務組合との協議は、策定に向けて取り組みを始めたところであり、詳細の協議はこれからです。県内の市町と災害時の相互応援協定を結んでいるので、受け入れに関しては今後協議して行く。県外の場合もクリーンセンターでどこまで受け入れ出来るか協議して行く。



白山市議会議員

てらこし和洋
白山市議会通信

2018年 冬号

平成最後の年末が近づいております、今日この頃、貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

今年も色んな事がありました、2月の大雪、大阪北部の地震、西日本の豪雨、夏の猛暑、台風、北海道の地震等、多くの自然災害が発生しました。現在も被災地において尽力されている方々に敬意を表したいと思いますし、早急なる復興を希い願うばかりであります。

自然災害を無くすることは出来ませんが、行政の責務として被害を最小限に留める事は可能であると思っております。

さて、国政の方では、第4次安倍改造内閣もスタートしたわけであり、安倍総理の総仕上げともいえる1億総活躍社会の実現にむけての国政の運営に期待をしたいと思うと同時に、謙虚に国民の声を聞き負託に応えて頂きたいと思っております。

さらに、米国の中間選挙による、トランプ政権の今後の上院下院のねじれ現象に、日本外交の知恵に期待をいたしたいと思います。

一方、石川県政も安定期に入っている中、来春は、地方統一選挙の年であります。将来の石川県政の布石のスタートとなるように感じます。

我が白山も、良い形の中で、市長選挙が無投票となり、山田市長二期目のスタートとなり、市政運営では企業の好調な税収により安定化が進むと思われまます。

同時に、白山市は市政誕生15年を迎えます。合併時の有利な合併特例債も終了し、特例債の償還や国からの交付税の段階補正など、今後の財政計画に注視しなければなりません。

そして、白山市では、新幹線の白山総合車両所付近のビジターセンター建設に向けて見える形を造りあげて行かなければなりません。

第二次白山市総合計画のキーワードである、健康・笑顔・元気から、人生100歳の時代に向けて各種の施策の具体化と市民総参加の事業の展開をしていかなければなりません。

同時に、高齢者福祉対策の一つとして、近い将来、認知症患者が5人に1人と予想される中、早急なる対策が必要と思っております。

消費税の導入が迫る中、地域の活性化が必要と思っております。来年行われるラグビーワールドカップや、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの経済波及効果の活かし方を、見える形にししながら、世界ジオパークの認定、国連が推進していますSDGs(持続可能な開発目標)の推進の具現化など、来年は白山市元年のスタートの年となるような気がいたします。そして、さらに前進するため、市民の皆さんが、満足するような施策の充実が必要となってきています。

私自身は軸足が市民であることを忘れずに、夢と希望と努力することが報われ、暮らしやすい社会の実現と、さらなる安心して暮らすため安全なるまちづくりの推進を図ってまいります。

今後とも、皆様方から市政に対するご意見を頂戴しながら、皆様のご意見を活かして市民の負託に応えていきたいと思っております。

今後とも、さらなるご指導ご鞭撻ご叱咤を賜りますようお願いを申しあげ、来る年が貴台始めご家族皆様方のご多幸の多き年と成りますよう、心よりご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



(第10代議長で議長席にて)

てらこし和洋後援会事務所

白山市議会議員 ●E-mail: terakos@asagaotv.ne.jp

てらこし かずひろ ●メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp

寺越 和洋 ●メールアドレス terakoshikazu@gmail.com

後援会事務所 ●携帯電話 090-7088-0000

〒920-2146 白山市日向町和110番地 TEL・FAX 076-272-2789

てらこし和洋のプロフィール

昭和33年3月4日生まれ

昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業

昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業(サッカー部在籍)

昭和55年3月 神奈川大学経済学科卒業

平成7年4月～ 旧鶴来町議会議員

平成17年3月～ 白山市議会議員

平成19年3月～20年3月 白山野々市広域事務組合議会議員

平成23年3月～24年3月 白山市議会副議長(第7代)

平成25年3月～26年3月 白山石川医療企業団議会議員

平成26年3月～27年3月 白山市議会議員(第10代)

平成27年3月～29年2月 予算常任委員会委員長(初代)

平成29年2月 白山市議会議員当選(通算7期目)

現在の役職 ●議会での役職/学校と地域のかかわりに関する特別委員会委員長 ●議会での所属/文教福祉常任委員会委員、白山石川医療企業団議会議員 ●その他の役職/白山市サッカー協会会長、白山市相撲連盟会長、石川県フットボール協会副会長、石川県サッカー振興議員連盟会員、白山市自衛隊募集相談員、クレイングラウンドゴルフクラブ会長、神奈川大学宮後会石川県支部常任幹事、錦丘高校同窓会代表幹事、元秋田犬保存会石川県支部展覧会名誉会長

◎平成30年9月 補正予算後の総額		◎平成29年度 決算 歳出	
・一般会計	483億9,704万円	・一般会計	521億2,372万円
・国民健康保険特別会計	106億8,875万円	・国民健康保険特別会計	127億7,503万円
・後期高齢者医療特別会計	12億2,990万円	・後期高齢者医療特別会計	11億8,942万円
・介護保険特別会計	95億8,069万円	・介護保険特別会計	90億5,086万円
・簡易水道事業特別会計	5億3,436万円	・簡易水道事業特別会計	4億7,604万円
・墓地公苑特別会計	1,833万円	・墓地公苑特別会計	1,845万円
・温泉事業特別会計	1,639万円	・温泉事業特別会計	1,530万円
・工業団地造成事業特別会計	11億6,626万円	・工業団地造成事業特別会計	10億1,500万円
・湊財産区特別会計	2,515万円	・湊財産区特別会計	3,942万円
・水道事業会計	26億1,060万円	・水道事業会計(収益・資本的支出)	24億3,490万円
・工業用水道事業会計	2億6,020万円	・工業用水道事業会計(収益・資本的支出)	7億9,327万円
・下水道事業会計	86億2,425万円	・下水道事業会計	81億4,727万円
合計	831億5,192万円	合計	880億7,868万円

◎平成29年度 決算			
・一般会計歳入(収入)	533億3,333万円	・総額歳入(収入)合計	785億4,676万円
・歳出(支出)	521億2,372万円	・歳出(支出)合計	767億3,240万円
		・市債(借金)合計	885億5,187万円
		・基金(貯金)合計	102億4,702万円

*企業会計は除いています。詳細は市の広報紙やホームページをご覧ください。